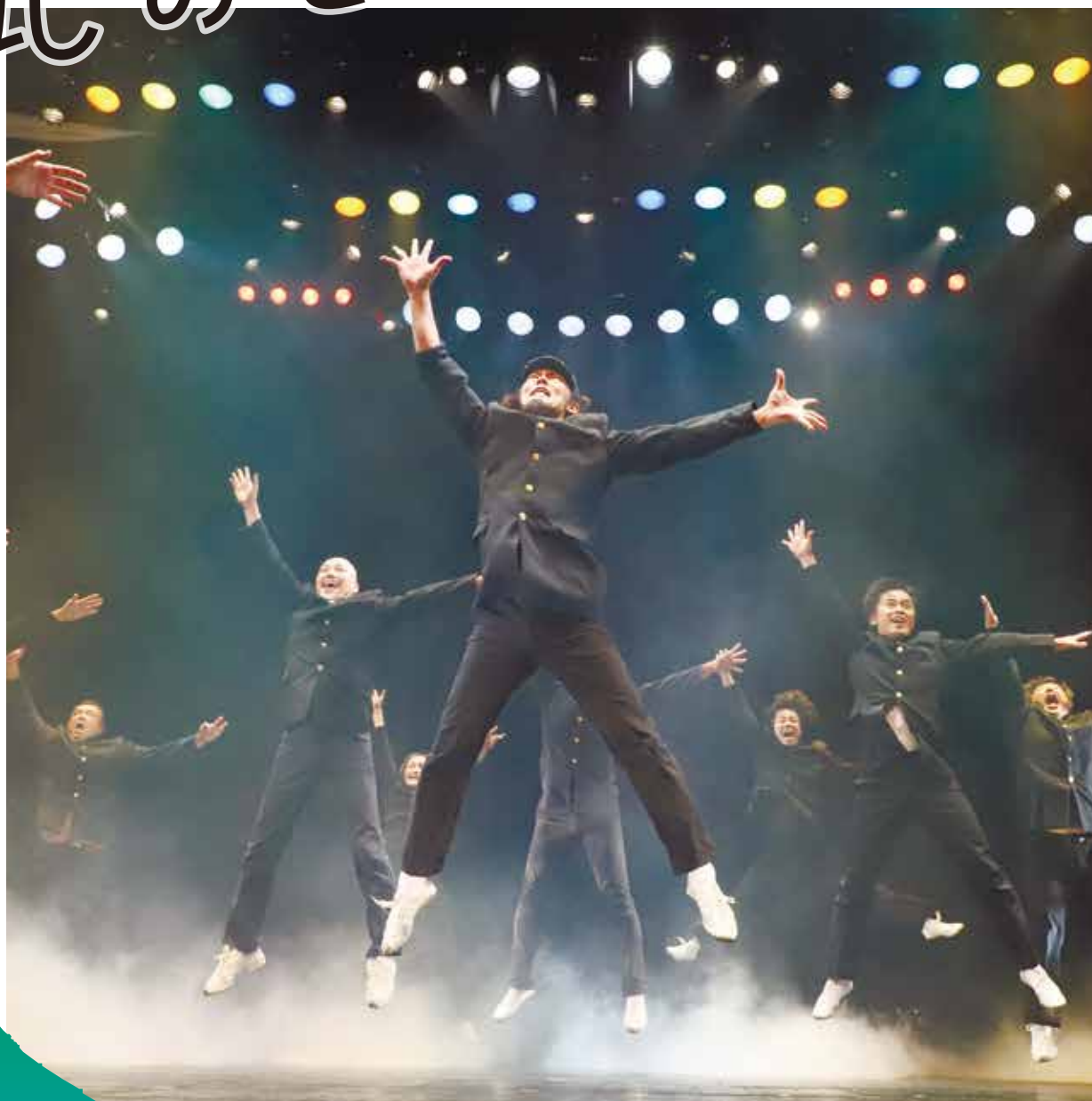


# 北のとびら

vol. 131

令和5年10月



オホーツク北部  
特集

特集 | 近藤良平 (コンドルズ) interview

## コンドルズ札幌公演 「Blowin' in the Wind」

アート巡礼 オホーツク北部 / つくる人 in 湧別町 伊藤英二

ジモトデザイン 北見市・ローズマリーグミcaor

マチカド芸術 紋別市『渡辺行夫彫刻群』 / ART FILE 池田さやか

劇場やコンサートで楽しむ日々を取り戻したという感覚



幕別公演後はキャスト自らが物販スペースに立ち、サインに応えたり、会話を楽しむなど、終始和やかな雰囲気でした。

久しぶりの幕別公演、お疲れ様でした！  
**近藤** 13年ぶりの幕別町でした。会場の「幕別町百年記念ホール」は1996年に開館したのですが、実はコンドルズの結成も1996年。お互い誕生から27年という同い年で、不思議な縁を感じる会場です。  
今日は老若男女、たくさんの方たちが客席を埋め尽くしていて、終始大盛り上がりでした。  
**近藤** コロナ禍を経験した誰しもが思うのだからけれど、客席の盛り上がりを見てみると、劇場やコンサートに通って楽しむ日々を「取り戻した」という感覚がありました。みなさん手放して喜んでいて、私たち自身もそれとても楽しくて、自由な空気

を感じることができました。  
近藤さんは以前受けていたとあるインタビューで「コロナ禍だからこそ表現を続けていく、作っていくという動きが出てくるだろう」とお話しされていました。今改めて振り返ってみて、コロナ禍はコンドルズや文化芸術にとって、どんな時間でしたか。  
**近藤** 僕は基本的にポジティブな人間だから、当時もずっと前向きな発言をしていましたよ(笑)。コロナ禍という大きな出来事の中でも、コンドルズは一度も止まることなく活動を続けてきた、と自負しています。若い人た

ちにとっては目新しいものではないかもしれませんが、YouTubeを中心にした動画配信にも力を注ぎましたし、2022年の東京公演では、感染状況などから中止の決断をしましたが、無観客での生配信公演にも挑戦しました。この期間に、コンドルズなりにこれまでと違う表現方法を模索した結果、アプクの状態ではあるけれど、新しいものが生まれてきそうな予感はある。まだアプクの破裂には至ってはいないけれどね。でも、

### コンドルズとは？

あの「紅白歌合戦」のNHKホールを即日完売+追加公演、世界30カ国以上で公演、ニューヨークタイムズ紙絶賛、男性のみ学ラン姿でダンス・生演奏・人形劇・パフォーマンス・映像・コトを展開するダンス集団です。

WEBサイト <https://www.condors.jp/>  
YouTube <https://www.youtube.com/@user-er5qs1hu2f/videos>

# 近藤良平

KONDO RYOHEI

インタビュー・コンドルズ主宰



## コンドルズ札幌公演 「Blowin' in the Wind」

PHOTO/表紙：©HARU、インタビュー写真：溝口明日花（マカロニ写真事務所）

ダンスカンパニー「コンドルズ」が、2023年11月に12年ぶりの札幌公演を行います。2023年6月25日、多くのファンが足を運んだ幕別町百年記念ホールでの公演終了後に、主宰の近藤良平さんにコンドルズの活動や待望の札幌公演についてお話を伺いました。

創作することの楽しみ、自由度の高さを伝えていきたい

コロナ禍はマイナスだけではなかったかな。そして、客観的に見ても、誰ひとり欠けることなく、コンドルズがこうして続けてこられたのは、素直にすごいことだと思っっています。

ことがなかったというのは、本当に凄いですよね。  
近藤 一方で、僕は多摩美術大学の演劇舞踊デザイン学科で教員もしているのですが、学生たちと関わっているとコロナ禍がもたらした課題を強く感じます。例えば、今の大学一年生は、高校



3年間でマスクで始まってマスクで終わっているんですよ。学生時代というのは、人生の中で多くのことを得るべき時期です。その大切な時期に、彼らは閉塞感のある日々を送ることになってしまった。音楽やダンスや演劇など、劇場に足を運ぶとそこにはたくさん面白いことがある、ということを感じることが難しい状況にあった。僕たち大人は、たくさん経験した中で一時的にそうした行動に制限をかけたけれど、若者たちの多くは楽しみを知る前でしたからね。だから、創作することがどれだけ楽しくて、自由度のあることかということ、しっかりと伝えていきたいと思っていますし、そうしないとまずいと、この先の文化芸術の未来を考えて危機感も覚えています。若者たちにはもっとワクワクしてもらいたいですよね。僕たちは大人として、表現者として、若者たちを刺激し

ていかなばならないと思うんです。  
今日のように劇場に足を運ぶことは「文化芸術の面白さ」を実感し、刺激を受ける機会のひとつですよね。地方を巡るといってはコンドルズにとっても刺激になりますか。  
近藤 刺激はすごくありません。地元の仕事も地元の人との会話も、僕もメンバーも大好きですから。目的を持って旅をして、人と触れ合い、発表するということは非常に意義のある行動ですね。コンテンポラリーダンスは一般的に知られるヒップホップやクラシックバレエとは異なり、メディアを通して目にする機会が少ないジャンルだと思います。さらにコンドルズは、コンテンポラリーダンスという括りの中でも、かなり変わったパフォーマンスをしています。よくイメージされるような、ダークな印象や、深い考えを必要とするダンス作品よりも、ぐっとエン

ターテインメントに徹している、3世代一緒に観て楽しめるステージなのですが、こればかりは実際に体感してもらわないと伝わらない部分もありますよね。公演を観るに、各地から様々なジャンルのダンサーが会場に足を運んでくれるのも嬉しいです。今日も中標津町から観に来てくれた人がいたりして、



各地でジャンルを超えたダンスの繋がりが生まれていくのも刺激になります。  
客席には子どもたちの姿がたくさんありました。今日の公演が文化芸術に触れた原体験になる子もいたでしょうね。  
近藤 実は今日、とても感動的なことがあったんです。13年前の幕別公演をお父さんと一緒に観たという当時小学生だった女の子が観に来てくれたんです。お父さんは仕事が忙しくて来られなかったからと、一人で会場に来てくれて。すごく嬉しかったなあ。  
11月は久しぶりの札幌公演です。きつと新たな出会いが待っていますね。

エンターテインメントに徹した3世代で楽しめる作品



Profile  
こんどう・りょうへい  
コンドルズ主宰。ペルー、チリ、アルゼンチン育ち。第67回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。第4回朝日舞台芸術賞山修司賞受賞。第67回横浜文化賞受賞。TBS系列『情熱大陸』、NHK総合『地球イチバン』等出演。NHK教育『からだであそぼ』内「こんどうさんちのたいそう」、NHK総合『サラリーマンNEO』内「テレビサラリーマン体操」などで振付出演。NHK連続テレビ小説『てっぺん』オープニング振付も担当。NHK大河ドラマ『いだてん』ダンス指導、「私立恵比寿中学」振付など、映画、TV、PV、CMなど、振付多数。



近藤 札幌はコンドルズとしても、僕個人としてもかなり久しぶりなのですが、記憶に残る経験が多い街です。僕は、札幌の「ダンススタジオ マイノ」の代表・宏瀬賢二さんと交流があるんですよね。このスタジオは、ヒップホップやジャズダンスが主体なので、僕とは分野が違います。けれど、宏瀬さんは非常に懐の深い方で、「近藤さん、面白いから何かやってみて」と声をかけてくださったことがあって。普段はヒップホップやジャズダンスを中心に活動しているダンサーたちに、かなり奇抜なこと挑戦してもらったんです。そしたら、それをきっかけにダンスの価値感が変

「Blowin' in the Wind」

友よ、答えは風の中か、胸の奥か、夢の果てか？  
学ランの快男児！逆風の世界に堂々参上！今こそ絶対必見！ラブとピースの王道大傑作登場！

【構成・演出・振付】近藤良平  
【出演】石淵 聡 オクダサトシ 勝山康晴 香取直登 鎌倉道彦 ぎたろー 黒須育海 古賀 剛 ジントク スズキ拓朗 橋爪利博 藤田善宏 安田有吾 山本光二郎 近藤良平

日時	2023年11月14日(火) 18:00開場 18:30開演 20:00終演予定
会場	北海道立道民活動センター かでる2・7 かでるアスピックホール (札幌市中央区北2条西7丁目)
料金(税込)	全席指定 前売券 一般/4,000円 U-25/2,000円 当日券 一般/4,500円 U-25/2,500円

●公演に関するお問い合わせ/  
北海道文化財団 TEL 011-272-0501 (9:00~17:30 土日祝日を除く)  
※車椅子席をご希望の方は北海道文化財団までご連絡ください。  
主催:公益財団法人北海道文化財団 制作協力:ダブルス、オフィスティンブル



# オホーツク北部で探すアート

※掲載されている営業時間やイベント開催日時等が変更になる場合があります。

刺激がいっぱい  
オホーツク北部の  
アートスポット



## 08 コンセプトは、「みて、ふれて、あそんで、つくる」 森の美術館 木夢(こむ)



大型木製遊具や「木の砂場」、手作りの木のおもちゃなど約3,000点の作品と、トイシアターを備えた木の遊園地。ものづくりの楽しさと、木の持つ肌ざわりや質感を学び、体験することができます。

- 住所/西興部村字西興部276 ●TEL.0158-87-2600
- アクセス/名士バス「小学校前」から徒歩2分
- 開館時間/4~10月10:00~17:00(入館は16:50まで)  
11~3月10:00~16:30(入館は16:20まで)
- 入館料/一般(高校生以上)500円、小学4年~中学生300円、  
3才~小学3年生100円、2才以下無料
- 駐車場/あり ●https://www.vill.nishikoppe.lg.jp/komu/

## 07 クラフト体験メニューが充実 道の駅遠軽 森のオホーツク



スノードームやキャンドル、ソーラーランタンなど、大人も子ども楽しめる体験プログラムが充実しています。旅の思い出にはもちろんのこと、自由研究の作品づくりにも最適です。

- 住所/遠軽町野上150-1 ●TEL.0158-42-4536
- アクセス/JR遠軽駅より車で約15分
- 営業時間/9:00~18:00
- 入館料/無料※クラフト体験有料、詳細はWEBでご確認ください。
- 駐車場/あり ●https://engaru-mori-no-okhotsk.jp/indoor-activity/\_trashed/

## 06 流水をモチーフにした器が人気 流水窯(手工芸の館)



北見市の窯元・流水窯では、地元の粘土やホタテ貝・カキ貝・木灰を使って焼き上げた「流水焼」を展示・販売中。カーリングストーンの形を再現したカーリングポットや、陶芸体験も人気です。

- 住所/北見市常呂町字土佐2-34 ●TEL.0152-54-2272
- アクセス/網走バス「常呂町民センター前」より徒歩2分、道の駅サロマ湖より車で22分
- 開館時間/9:00~17:00
- 定休日/月曜・祝日の翌日
- 入館料/ギャラリー・工房・窯場の見学は無料。陶芸体験についてはお問い合わせください。
- 駐車場/100台 ●http://tokorollc.sakura.ne.jp/ryuhyo/index.html

## 05 地域に根ざして20年、人と人を繋ぐ町の雑貨屋さん 雑貨店PECORI



人気ブランドの服やバック、靴下などの販売に加えて、町内外の作家の陶芸作品やアクセサリ雑貨といった、店主の「好きな手仕事」を展開中。夏と冬にはフリマイベントも開催しています。

- 住所/佐呂間町西富107-1 ●TEL.090-7659-8277
- アクセス/周辺にランドマークが無いので、Googleマップをご活用ください
- 営業時間/10:30~17:00
- 定休日/不定休
- 駐車場/5台
- Instagram @pecori555

## 04 著名作家の原画展示を中心に漫画の魅力を発信! 湧別町漫画美術館



文化センターTOM内の漫画美術館。モンキーパンチやいがらしゆみこ、石ノ森章太郎などの漫画家の原画や、「オホーツク国際漫画大賞」(平成12年まで開催)の受賞作品を展示しています。

- 住所/湧別町中湧別町3020-1 ●TEL.01586-2-2218
- アクセス/北見・北紋バス「中湧別文化センターTOM」前
- 開館時間/9:00~17:00
- 休館日/月曜日・祝日・12/30-1/4
- 入館料/無料 ●駐車場/無料
- https://www.town.yubetsu.lg.jp/administration/culture/detail.html?content=53

## 01 オホーツク海を一望する、多世代が集う交流拠点 雄武町図書館 雄図(ゆ〜と)ぴあ



道産木材を使用した館内には、石器や土器、開拓期の民具、雄武町出身の洋画家・小田切訓の絵画などを多数展示。図書館でありながら、博物館・美術館としての役割も果たしています。

- 住所/雄武町字雄武1031-25 ●TEL.0158-84-2404
- アクセス/道の駅「おむむ」から徒歩10分
- 開館時間/火~金曜10:00~19:00、土・日曜・祝10:00~18:00
- 休館日/月曜日(祝日を含む)、年末年始(12月30日~1月5日)
- 入館料/無料 ●駐車場/20台
- http://www.town.oumu.hokkaido.jp/kanko\_bunka\_sports/toshokan/

## 02 アートやカルチャーを発信する文化商店 CLC(シティライツコープ)



スノーボード、スケートボードカルチャーを軸としたアートやファッション、音楽と“つながる”文化商店。個展やライブなど、グラフィックデザイナーの店主が企画するイベントを不定期で開催しています。

- 住所/興部町字興部464-2
- アクセス/道の駅「おこっぺ」より徒歩5分
- 営業時間/11:00~23:00
- 定休日/不定休
- 駐車場/あり
- @city\_lights\_coop\_okp (Instagram)

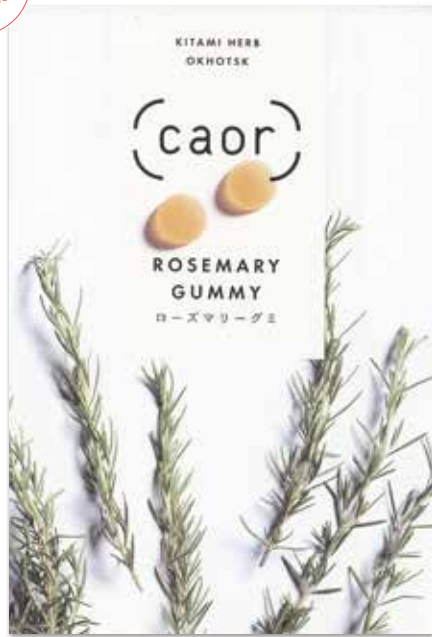
## 03 地元ゆかりの芸術家を紹介 紋別市立博物館 まちなか芸術館



流水画家・村瀬真治の絵画や、紋別出身の彫刻家・齊藤顕治の作品を常設展示。今後は新たに、紋別出身の現代アーティスト・竹澤イチローの作品を展示する予定です。

- 住所/紋別市幸町3丁目1-12 ●TEL.0158-23-4236
- アクセス/紋別バスターミナルより徒歩6分
- 開館時間/9:30~17:00
- 休館日/月曜日、年末年始(12月28日~1月4日)、祝日の翌日(土曜日・日曜日を除く)
- 入館料/無料 ●駐車場/38台
- https://mombetsu.jp/education/?content=274

日常に溶け込むデザインの魅力に迫る！



▶美幌町の農家が無農薬で大切に育てたローズマリーを使ったグミは、清々しい芳香とほろ苦い香味が特徴。原料にはローズマリーの精油のほかに、余市町産のリンゴ果汁も使用している。

**世** 界一のハッカ生産地として栄えた北見市は、人口あたりの焼肉店数が北海道で1位、全国で3位（2021年5月調査）という「焼肉とハーブのまち」。同市の中心市街地で45年にわたり不動産業を営む伊谷商事が「北見焼肉とオホーツクハーブの魅力発信し、地域や商店街を盛り上げたい」という想いから開発したのが、ローズマリー精油を使ったエチケットグミ「caor」です。「焼肉を食べた後に口の中を爽やかにしてくれるグミキャンディーや、消臭スプレーを作りたいと考えました。北見市にはもともと、ハッカやカモミールを使った有名な製品があり、どんなハーブが合うかを検討する中で、私の大好きなサガリと相性のいいローズマ

リーに行き着きました」と話すのは、同社開発担当・伊谷美香さん。2017年度に市の共同研究開発事業を活用し、北見工業大学の協力のもと、ローズマリーを用いた加工食品の試作を開始。その中のひとつがエチケットグミ「caor」として販売されることになりました。「きゃおー」という親しみのあるネーミングは、北見市出身のコピーライター池端宏介さんの考案によるもの。ロゴとパッケージデザインを担当したのは、地域性を活かしたブランド戦略に定評のある旭川のデザイン事務所「カギカッコ」です。ロゴは、オホーツクエリアから北海道全体に販路を広げていくというイメージを軸に検討。ハーブ産地の美幌町、商品加工地の津別町、開発地

の北見市、そして北海道全体に見立てた4つのカッコが「caor」の文字を囲むデザインになりました。白地にローズマリーの写真をあしらひ、色数を絞ったパッケージデザインは、シンプルでありながらも清々しい香りを感じる佇まい。柔らかな印象を与える「caor」のロゴデザインと相まって、手に取った瞬間、良い香りに包まれるような気分させてくれます。

「グミを通して北見を知って



焼肉とハーブのまち  
北見で生まれた  
「caor」きゃおーる「シリーズ

もらいたいのももちろんのこと、お土産として選んだ観光客が北見ってどんな街なんだろうと興味を持つ、そんな物語を紡ぐことができたなら幸せですね」と伊谷さん。「caor」はグミの他にもバームや石鹸、リップクリームなど関連シリーズも展開中。首都圏や関西圏からの注文も増えつつあり、オホーツクハーブの豊かな香りは、北見市から全国、そして世界を目指して広がっています。

オンラインショップはこちら



水彩画家 伊藤英二

流

れ出した水が静かに漂う湧別川。雲の隙間から差し込む光がその水面を照らし、白く輝いています。「早春の光は希望。海明けが迫る湧別川には躍動の予感があります」と語るのは伊藤英二さん。雪解けの始まった湧別川を写実的に表現した水彩画「春光輝（湧別川）」は、美術公募展「白日会展」で一般入選者の最高位「白日賞」に輝きました。伊藤さんは同展に3回連続入選。その画力と水彩による表現力が評価され、10回前後の入選が必要とされる同会会友に、初入選から2年で推挙。油彩が主の絵画界の中で、独学で水彩に向き合い、その魅力を「臨場感や透明感、水彩だからこそ表現できるものです」と話します。

3年生の時に仲間たちと共に同好会を発足。意気揚々と絵に取り組みましたが、ここで挫折を味わいます。「メンバーの中に私よりも遥かに優れた画力を持つ男がいたんです。まさに、井の中の蛙大海を知らず。すっかり自信を失ってしまいました。卒業後は役場に就職。たまたまイベントで絵を描く程度の「絵が得意な職員さん」として過ごしました。再び転職が訪れたのは退職後のこと。北見市で開催していた絵画展に立ち寄った伊藤さんは、ずらりと並ぶ絵画の前に「自分もまだ描けるかもしれない」と、40年ぶりにも情熱が再燃。模写や書籍を通じて陰影や光、色調を学び、日本水彩展をはじめ



伊藤英二（いとう・えいじ）

1949年湧別町生まれ。湧別高校卒業。自治体職員を経て、独学で水彩画を始める。2016年日本水彩展に初出品し奨励賞を受賞。以降、東光展、一水会展などで入選を繰り返す。2021年、2022年に白日会展連続入選。2023年白日会展白日賞・白日会会友推挙。伊藤さんは現在、日展に挑戦するための新作を制作中。「光が照らす景色には必ず叙情がある。自然界で繰り返される動物たちの命のやりとりや、その地の歴史、美しいだけにとどまらない物語を表現していきたいです」



白日賞に輝いた水彩画「春光輝（湧別川）」。「光を魅せるためには影をしっかり描くことが大切」と伊藤さんは語る。



### 作品のモチーフは頭の中に浮かんだイメージ

**子** どもの頃から絵を描くことが好きだった私は、大学でも絵を学ぼうと教育大の美術文化課程に進学を決めました。絵画の専攻は日本画と油彩の2部門でしたが、油絵は向いていないと感じていたことや、受験は水彩で受けたので手法的に近いのではないか、という理由



から、ほとんど知識のない状態で「日本画」を専攻しました。

日本画の魅力は落ち着いた色合いや画面の質感だと感じています。自身がイメージして目指す表現や質感を画面上に再現することに試行錯誤する時間は私は好きです。技法も多く、使用する画材もさまざまです。私は動物の皮を加工して作られる「膠(にかわ)」、貝殻から作られる白色絵具「胡粉(ごふん)」、鉱石を砕いて粒子状にした「岩絵具(いわえのぐ)」、色の素となる「顔料(が んりょう)」、純金絵具の「金泥(きん でい)」などを使うことが多く、たまに、珪藻土やアクリル絵の具も使用しています。

作品のインスピレーションは、その時々で聴いている音楽から受けることが多いです。音楽を

聴きながら車を走らせている時に浮かんでくるイメージが作品のモチーフになっています。頭の中に浮かんだイメージをじっくり考察し、スケッチを描き起こし、時には肉付けをしながら画面を構成していきます。

以前は『美女と野獣』、『秘密の花園』、ミハエル・エンデの『モモ』など、物語を題材にイメージを膨らませて制作することが多く、この経験が「自身のイメージのみをモチーフにする」という、現在の制作姿勢につながっているのではないかと思います。

札幌の大学を出ている私にとってこの街は、制作のしやすさを感じる場所です。日本画の先生や先輩方とお会いする機会が多く、道展に所属しているため他部門の方々との交流もあり、この

街で出会う人々からも日々刺激を受けています。

今回の企画展は、私にとって久しぶりの個展になります。「star ship」(上段左)、「angel」(上段中央)、「ヒトヨタケ」(上段右)、「row a boat」(下段左)など、ここ数年にわたる作品の変化を見ることができると思います。



**池田 さ や か**  
1981年生まれ、北海道札幌市在住  
北海道教育大学札幌校芸術文化課程美術コース日本画研究室卒業  
道展会員、北の日本画展会員



詳しいSTORYはWEBで



標高334mに位置する大山山頂園は、紋別市とオホーツク海を見渡せる絶景スポット。年間多くの観光客が訪れるこの場所に、紋別市出身の彫刻家・渡辺行夫の作品が9基点在している。

北海道文化財団アトスペース企画展 vol.53

池田さやか 日本画展

2023.11.8～12.27 9:00～17:00 ※土日祝休館 ※都合により臨時休館する場合があります。

場所 / 札幌市中央区大通西5丁目11大五ビル3F 問い合わせ / 011-272-0501

入場  
無料

# 財団事業インフォメーション (2023年11月～2024年3月)

事情により公演やイベント等の開催が変更または中止になる場合があります。事前にそれぞれのお問い合わせ先にご確認ください。また、各公演等の開演時間や入場料等については、問い合わせ先にご確認ください。

## 文化提携交流事業

### ●北芸亭・寄席演芸講座「笑福亭羽光・お囃子成田みち子のはめもの入り上方落語講座」

日 時: 2023年12月9日(土)  
会 場: 北海道立道民活動センターかでの2・7 1階110会議室  
問い合わせ: (公財)北海道文化財団 ☎011-272-0501

## 文化交流事業 (発信・招へい)

### ●第73回市民文化祭 室蘭音楽協会市民オーケストラ演奏会

日 時: 2023年11月19日(日)  
会 場: 室蘭市市民会館  
問い合わせ: 室蘭音楽協会市民オーケストラ ☎080-5025-4634

### ●オバンボン創造社「幸演会」札幌公演

日 時: 2023年11月21日(火)～22日(水)  
会 場: 扇谷記念スタジオシアターZOO  
問い合わせ: ラボチ ☎090-5959-1262

## 新進アーティスト育成事業

### ●札幌学生対校演劇祭 第14章

日 時: 2023年11月3日(金・祝)～5日(日)  
会 場: 演劇専用小劇場BLOCH  
問い合わせ: 日本学生演劇プラットフォーム北海道支部  
加納 ☎080-3291-6547

## アートシアター鑑賞事業

### ●風間社夫ひとり芝居

砂川市公演  
日 時: 2023年11月11日(土)  
会 場: 砂川市地域交流センター  
問い合わせ: NPO法人ゆう ☎0125-54-3111  
池田町公演  
日 時: 2023年11月15日(水)  
会 場: 池田町田園ホール  
問い合わせ: 池田町田園ホール芸術文化事業委員会 ☎015-572-4411

### ●泉ピン子の「すぐ死ぬんだから」

士別市公演  
日 時: 2023年11月16日(木)  
会 場: あさひサンライズホール  
問い合わせ: (一社)舞藝舎 ☎0165-28-3146  
北見市公演  
日 時: 2023年11月21日(火)  
会 場: 北見芸術文化ホール  
問い合わせ: (株)日専連ニックコーポレーション ☎0157-31-0909

### ●札幌ジャズアンビシャス

日 時: 2023年11月18日(土)  
会 場: 豊頃町える夢館  
問い合わせ: 豊頃町教育委員会 ☎015-579-5801

### ●ピーターとおオカミ

北広島市公演  
日 時: 2023年12月15日(金)  
会 場: 北広島市芸術文化ホール  
問い合わせ: 北広島市芸術文化ホール運営委員会 ☎011-372-7667  
訓子府町公演  
日 時: 2023年12月17日(日)  
会 場: 訓子府町公民館  
問い合わせ: 訓子府町町民芸術劇場実行委員会 ☎0157-47-2121

### ●優香クインテット

日 時: 2024年2月18日(日)  
会 場: 滝川市民交流プラザ  
問い合わせ: NPO法人アートステージ空知 ☎0125-23-6330

### ●ぐっさんのハッピーオンステージ

津別町公演  
日 時: 2024年3月9日(土)  
会 場: 津別町中央公民館  
問い合わせ: 津別町芸術鑑賞事業実行委員会 ☎0152-76-2713  
鷹栖町公演  
日 時: 2024年3月10日(日)  
会 場: たかすメロディホール  
問い合わせ: 鷹栖町教育委員会 ☎0166-87-2500

### ●カルテックオーク

日 時: 2024年3月10日(日)  
会 場: 深川市文化交流ホール  
問い合わせ: カルテックオーク深川公演実行委員会 ☎0164-22-3062

## まちの文化創造事業

### ●第8回ミュージカル公演 Asahikawa 繋がりゆく魂

日 時: 2023年11月4日(土)～5日(日)  
会 場: 旭川市民文化会館  
問い合わせ: 劇団「BREATH」事務局 ☎080-9505-8372

### ●第3回千歳市民ミュージカル開催事業 「君住む町で」

日 時: 2023年11月11日(土)～12日(日)  
会 場: 千歳市民文化センター  
問い合わせ: 千歳市民ミュージカル実行委員会  
約(つり) ☎090-2812-1014

### ●市民で創る創作劇～あれから10年、そしてみらいへ

日 時: 2023年12月17日(日)  
会 場: 深川市文化交流ホールみらい  
問い合わせ: NPO法人深川市舞台芸術交流協会 ☎0164-23-0320

### ●帯広合唱連盟創立60周年記念「帯広交響楽団第九特別演奏会」

日 時: 2023年12月17日(日)  
会 場: 帯広市民文化ホール  
問い合わせ: 帯広交響楽団 ☎090-6445-7739

### ●小樽市民会館開館60周年記念 パレエくるみ割り人形(全幕)公演

日 時: 2023年12月24日(日)  
会 場: 小樽市民会館  
問い合わせ: 小樽市民会館 ☎0134-25-8800

### ●音楽劇 マムギイモ王国と亡霊

日 時: 2024年2月24日(土)～25日(日)  
会 場: 幕別百年記念ホール  
問い合わせ: マムギイモ王国公演実行委員会 小林 ☎090-5951-1396

### ●北広島市芸術文化ホール開館25周年記念事業(仮称)「中山久蔵物語」

日 時: 2024年2月24日(土)～25日(日)  
会 場: 北広島市芸術文化ホール  
問い合わせ: 北広島市芸術文化ホール ☎011-372-7667

## 舞台芸術情報提供事業

### ●令和5年度舞台芸術ネットワーク会議

北海道文化財団が令和6年度に募集する事業の案内や、専門家を招いた講演会等を実施します。

日 時: 2023年11月30日(木)13:30～16:45  
内 容: ◎基調講演「どうすれば文化施設がまちを輝かせる拠点になれるのか?」  
講師: 中本正樹氏(小美玉市文化スポーツ振興部生活文化課 課長補佐/  
小美玉市四季文化館の〜れ 館長補佐・事業統括)

◎令和6年度事業募集案内  
会 場: 北海道立道民活動センターかでの2・7 4階大会議室  
対 象: 市町村・市町村教育委員会の文化事業担当者  
文化施設の事業担当者

参 加 料: 無料  
申込方法: 北海道文化財団のホームページ「お知らせ」から  
お申込み下さい(https://haf.jp)。  
申込締切: 2023年11月22日(水)  
問い合わせ: (公財)北海道文化財団 ☎011-272-0501



INFO



WEBマガジン「北のとびら」。冊子にはない情報も!ぜひご覧ください。

WEBマガジンはこちらから! <https://haf.jp/kitanotobira/>